

## 「日本の自然環境と文化」

2015年12月4日 JGA 本部研修レポート

本部運営委員会の企画で、12月4日（金）に浅草雷門前の台東区立浅草文化観光センターの会議室にて、増子邦宏氏（JGA 正会員・元理事、英語通訳案内士）を講師に迎え、「日本の自然環境と文化」研修を実施しました。

参加者は委員2名を加えて36名の盛会でした。

増子氏は都立大学工学部で土木工学を勉強されて鹿島建設に入社、国内はもとより、中国、韓国、ロシア、インドネシア、ベトナム、アメリカ、中央アジアなどで、技術士、土木設計施工のスペシャリストとして活躍、役職を歴任なさいました。3年早く退職して両親を介護なさった後は子会社のコンサルタントや、ベトナム国立大学で日本建築と商業日本語を教えていらっしゃいます。

そうした長い土木工学技術士としてのご経験や幅広い知識を基に、この自然災害の多い日本でどうお客様をご案内するかや、ガイドが知っているべき事などを、いろいろお話ししていただきました。

自然災害リスクに合う危険性の1番高い都市は東京横浜、2番はサンフランシスコ、3番はロスアンゼルス、4番は、大阪、神戸京都だそうです。また30年以内に災害や事故にあう確率は東海地震87パーセントと、とても高いそうで、そんなところに住んだり、仕事するのは、怖いと思いましたが、では、どうしたらいいのかとなると答えは出ません。増子氏が東京の住まいを売り払い、別荘としてお持ちだった富士山のふもとの忍野八海近くのマンションを本拠地としたのが、その答えかもしれません。

その他、渡辺勝正会員、根岸正理事事務局長補佐が発言されました。

研修後、出席者からは、とても良い研修で、豊富な増子氏の知識や経験の一端を聞かせてもらった、あるいはたくさんの資料ももらえてこれから勉強するなど、感謝メールをいただきました。

研修主担当：本部運営委員 別府 恵子